

副作用が起きたら医師・薬剤師に相談

Q 四十歳、男性。漢方薬には副作用がない、と思っていたら、昨今の新聞記事では小柴胡湯（し

ようさいことう）の服用による死亡例もあるとのこと。漢方薬を飲んでどのような症状がでたら医師、薬剤師に相談すべきなのか、教えてください。

適切な処置がとられるよう専門機関からの指導マニュアルができています。

A 漢方薬は副作用が起らないように細心の注意を払って処方されているが、それでも処方が適切でない場合やアレルギー反応を起こす場合がある。

質問者が心配している小柴胡湯の副作用は、アレルギー反応による間質性肺炎である。発熱や息苦しき、たんを伴わない空咳（せき）が主な症状である。ただちに医師の診察を受ければ、

多くの漢方薬に含まれていて、副作用の報告例も多い生薬は甘草（かんぞう）。むくみや血圧の上昇、強い筋肉痛、脱力が起こりうる。ぜんそくや関節痛などに用いられる麻黄（まおう）という生薬では、胃の不快や痛み、血圧の上昇、不眠など。滋養強壯の処方に含まれる地黄（じおう）では食欲不振や下痢。新陳代謝を賦活する附子（ぶし）では動悸（どうき）、胸苦しき、のぼせ、異常な発汗が報告されている。

その他、服用して不都合な症状がでた場合、病気が治る過程で生じる一時的反応のこともあるので、いたずらに心配せず、いつでも医師、薬剤師に相談し指示を受けていただきたい。